

福岡市男女共同参画推進センター アミカス

福岡県福岡市

高い起業率の 「女性の起業支援セミナー」

福岡市男女共同参画推進センター アミカスは、昨年創立15周年を迎えました。この間センターの利用者は300万人を超え、センターの活動が地域に密着していることがよくわかります。

このセンターでは、平成6年から「女性の起業支援セミナー」を開催しています。現在までに11回が開催され、平成14年に行われた修了生の追跡調査では、平成14年までの講座の修了生331名のうち、64名が起業に成功し、開業後は約35%が事業拡大に成功しています。しかも講座終了後3年以内での起業が80%を超えています。この数字は、起業セミナーが受講生にとってとても実践的な内容であったことを示すものだといえるでしょう。

女性の視点を活かせるような 講座内容に

女性の起業支援セミナーの大きな特徴は、これまで会社経営にまったく縁のなかった人や、経営についての知識がまったくない人でも、基本から学べるということと、コミュニティビジネスや女性ならではの視点に立ったビジネスなどでも起業できるような工夫がなされているということです。

「講座は、民間企業で実際にベンチャー支援や社内ベンチャー支援に携わっている講師とともに、毎年、各コマの組み立てや内容などを工夫するようにしています。また、それぞれのビジネスプランが実現できるように、講師が熱意を持って多方面からのアドバイスを行います。参加者同士や講師との交流の中で、一歩踏み出す勇気が出るのだと思います」と事務局の宮原美子さん。



福岡市女性協会の常務理事でもある館長の野口郁子さん



「まつりアミカス」ではそれぞれの団体が日頃の活動成果を発表します



「女性の起業支援セミナー」の講座では、受講生もとても積極的です



市民グループの活動の活発化を目指し開催されている、「まつりアミカス2003」シンポジウムの様子

起業家をネットワークする アミカス起業倶楽部

アミカスのもうひとつの特徴は、ネットワーク作りに積極的な役割を果たしているということです。女性のための起業支援セミナーの修了者を中心に運営されているアミカス起業倶楽部もそのひとつです。

またアミカスでは、ここで活動する団体が発表・交流する場として、年に1回「まつりアミカス」が盛大に行われています。「起業倶楽部は自主的な活動ですが、そこで学習会をしたり、地域の起業家の交流会が行われたりして、ネットワークがどんどん広がっています。また、まつりのように違った団体同士が交流する場を設けることで、さらにネットワークが広がり、活動の場としてアミカスがどんどん活用されていくことを望んでいます」と館長の野口郁子さん。

●施設概要

相談室、図書室、視聴覚室、ギャラリー、運動室、託児室、ホールを備え、多目的に利用できる。

●事業例

起業講座だけでなく各種の女性の能力開発のための講座やキャリアアップ講座、女性学など男女平等をめぐる意識改革の講座、健康管理の支援のための講座など多彩。グループの自主企画講座なども積極的に行われている。離婚に関するグループ相談会も開催。

●住所&交通アクセス

福岡県福岡市南区高宮3-3-1

西鉄高宮駅前

●問い合わせ

電話 092-526-3755

FAX 092-526-3766

女性の視点のビジネスを ネットワークで支えていきたい

アマカス起業倶楽部代表 株式会社フラウ代表取締役
濱砂圭子 さん 福岡県福岡市

濱砂さんのこれまで

出産を機に育児サークル
「ポニークラブ」を立ち上げる。

当事者の目から見た育児のために
役立つ情報を発信する新聞の発行を始める。

これから産み育てていく人のために
福岡の育児関連情報誌
「子づれDE CHA・CHA・CHA」を発行。
事務所を借りて、出版活動を本格化させる。

企業経営の基本を学ぶために
アマカスの「女性の起業支援セミナー」を
受講する。修了後は有志と
アマカス起業倶楽部を創設し活動を開始。

各種出版を手がけながら、全国の
お母さんたちの「マミーズサミット・
ネットワーク」をはじめ、子育て支援、
バリアフリーの街作り、環境、
起業家支援など多彩な活動を続ける。



濱砂さんが自費出版した「子づれDE CHA・CHA・CHA」の創刊号と、2004年3月号。地域密着型の子育て情報誌として注目されています



現在は、子育てに関するムックなどの単行本も出版しています

真っ白な手帳を見て アイデンティティを失った気分に

広告代理店でコピーライターとして働いていた濱砂さんは出産を機に退職。しかし、数日後には、「すごく忙しく働いていたのに、カレンダーや手帳が真っ白。毎日が日曜日。その時、自分が社会からまったく必要とされていない人間のように思えて、落ちこんでしまった」と言います。

しかし、育児を始めると同時に、濱砂さんのアンテナはめまぐるしく動き始めます。「育児をしている時に、本当に必要な情報がないということに気づいたんです。また孤独で、育児に行き詰まっていたり、社会から取り残されていくんじゃないかって不安を感じているお母さんの存在に気づいたんです」

濱砂さんは、平成2年に育児サークル「ポニークラブ」を立ち上げます。そこでのお母さんたちとの交流から、子育てに必要な情報を、もっと広く発信していくことを考えます。

雑誌、会社がまずありき、 それからアマカスの 「女性の起業支援セミナー」

「たとえば、子連れで出かけて天神あたりでトイレに入ろうとしても、赤ちゃんを連れて入れるトイレなんかぜんぜんない。授乳もできない、それが当時の福岡では当たり前だった。そこで、ポニークラブのお母さんたちを中心に福岡の子育てを取り巻く状況を調査して、平成5年5月、出産4か月後に『子づれDE CHA・CHA・CHA』を自費出版で創刊しました」

デパートのトイレ事情や小児科医の情報など、地域に密着したきめ細やかな育児情報を掲載したこの本は完売。そこで濱砂さんは事務所を借り、平成5年7月に有限会社フラウを設立し、本格的に出版事業を開始します。

「社長になったといっても、会社の経営とか社長業についてはまったく知識がなかった。とにかく企業経営についての基本を学びたかった」ということから、第1回アマカスの「女性の起業支援セミナー」を受講しました。

「経理上の基本的な言葉や方法、ビジネスプラ

ンの立て方など、とにかく新鮮でしたし、本当に自分が必要としている知識を与えてもらいました。そこで学んだことで、経営者としての自覚も生まれました」

お互いに刺激しあえるネットワーク 「アマカス起業倶楽部」を設立

「セミナーの終了後、アマカス起業倶楽部をつくったのは、学んでそれで終わりというのではなく、お互いに高めあい、刺激しあえるネットワークがあつたらいいなと思ったからです」

現在、アマカス起業倶楽部では、毎月1回のフォローアップセミナーを開催しているほか、起業支援セミナーの内容充実のためのサポート、人脈作りや情報交換のための交流会などを開催しています。

「『子づれDE CHA・CHA・CHA』から始まった活動は、同じような活動をしているお母さんたちのマミーズサミット・ネットワークという全国10万人規模の大きなネットワークになり、子育て環境の変化のために情報を発信しています。アマカス起業倶楽部もこのようなネットワークに成長していったらいいなと思っています」



編集室ではスタッフが編集作業に追われていました。濱砂さんもここで原稿を書いたり、作業の指揮にあたったりします。大学、行政、企業、全国講演行脚の日々。女性起業家、子育て講演のみならずコミュニティビジネスやマーケティングのテーマで幅広く活動中